

事業報告書

本年度は各事業が滞りなく行なわれるよう基本的な事業を中心に組み立てて参りました。研究助成事業は、サウンド技術振興部門に41件の応募がありその中から10件、また音楽振興部門は10件の応募がありその中から4件に助成金を交付致しました。音楽普及支援等事業は音楽普及を目的にピアノ演奏家を招聘して演奏と特別レッスンを開催致しました。講演会等事業は、研究助成テーマから8件を選んで講演会を開催致しました。機関誌「サウンド」は第34号を発刊し、本年度助成受賞者から6名の方々に執筆を頂くと共に、今日までの助成研究テーマ等を掲載して広報に努めております。調査研究事業はサウンド技術と音楽に関する技術調査を行いました。以下、事業経過の概況をご報告申し上げます。

1. 研究助成事業

1) 平成30年度研究助成

平成29年12月より平成30年2月28日までを期間とし、全国の国公立大学、私立大学等の研究機関及び過去の助成申請者等800件余へ機関誌「サウンド」第33号と助成案内を送付して募集活動を行なうとともに、音響学会誌、電子情報通信学会誌等及び財団ホームページを通じて広報に努めた。

その結果サウンド技術振興部門は33の大学等研究機関より41件の応募を得て事前書類審査を踏まえ、5月9日開催の審査委員会にて10件を選定した。音楽振興部門は10の大学等研究機関より10件の応募を得て事前書類審査を踏まえ、5月21日開催の審査委員会にて4件を選定した。

理事長にこれを報告し承認を得て、平成30年6月14日東京ガーデンパレスにおいて助成金贈呈式を行なった。

助成受賞者は次の通りである。(所属・役職 は申請当時、応募受付順)

【サウンド技術振興部門】

- (1) 鳴禽類のタップダンス要求愛行動から見る発声とジェスチャーの統合・制御メカニズム

マックスプランク鳥類学研究所
博士研究員 太田 菜央

- (2) ポンプの損傷低減のための衝撃波の音響ソリトン変換と高速放出

筑波大学システム情報系構造エネルギー工学域
助教 金川 哲也

- (3) 超音波を援用した革新的低公害燃焼器の開発

室蘭工業大学大学院工学研究科
准教授 廣田 光智

(4) ピアノ演奏における複数鍵盤操作の関係性の解析およびそれに基づく練習支援システムの構築

電気通信大学大学院情報理工学研究科
教授 坂口 豊

(5) 基質伝導音を利用した害虫防除および受粉技術の開発

電気通信大学大学院情報理工学研究科
教授 小池 卓二

(6) そのピアノは、感動を与えているか？ -人体に与える影響を、非侵襲的に定量診断

東北大学加齢医学研究所
教授 山家 智之

(7) 片耳難聴者の音響的空間知の解明と実用的な補聴システムの開発

首都大学東京システムデザイン学部
准教授 大久保 寛

(8) 高齢者・身体障害者の QoL 向上のための演奏支援技術の研究

日本大学文理学部
准教授 北原 鉄朗

(9) 超音波画像を用いた線維性肝組織構造の高精度推定法に関する研究

東北大学大学院工学研究科
助教 森 翔平

(10) 人の感性に基づく人工知能による進化的楽曲自動生成システムの提案

大阪府立大学工学研究科
准教授 森 直樹

【音楽振興部門】

(1) 昭和前期におけるラジオ放送と「日本文化」の形成-音楽番組を中心に

日本学術振興会
特別研究員 三枝 まり

(2) 昭和初期における管打楽器の基礎練習に関する教材史研究：「吹奏楽」「喇叭鼓隊」「鼓笛隊」の比較検討を通じて

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科
大学院生 飯村 諭吉

(3) 現代クレズマー音楽の演奏様式について

東京藝術大学音楽学部学理科
教育研究助手 三代 真理子

(4) 組踊における唱えの音高の研究

沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科
博士課程 大城 貴幸

2) 助成研究成果報告概要の配信

平成29年度助成受賞者からの助成研究結果報告をとりまとめ、財団ホームページから配信した。

3) 平成31年度研究助成募集活動

平成30年12月より平成31年2月28日を締切日(音楽振興部門コラボ分野は5月6日締切)とし国公立大学及び主な私立大学のほか過去の助成申請者等に対して募集活動を実施した。

2. 音楽普及支援等事業

1) 第9回音楽普及支援等事業

音楽普及を目的にピアノ演奏家を招聘し、若手ピアノ演奏家を対象にピアノ演奏 レッスンを開催した。財団ホームページを通じ広報と募集を行い、受講枠が全て埋まった。概要は以下の通りである。

名 称 ディーナ・ヨッフエ教授 ピアノ演奏 特別レッスン

開催日 平成31年2月22日、25日

会 場 カワイ表参道 3階 スタジオA

講 師 ディーナ・ヨッフエ

受講枠 10 (受講者10名)

受講費 無料

2) 第2回コラボレーション研究

音楽普及を目的に日本音楽文化への新たな挑戦を目指すピアノとジャンルを超えたコラボレーション研究の発表会の開催を目的に財団ホームページを通じて募集と音楽大学への広報を行ったが申請が無く発表会は開催していない。

3. 講演会等事業

1) 研究助成受賞者講演会 (第34回研究助成講演会)

開催日 平成30年11月6日 (火)

会 場 カワイ表参道 2階 パウゼ

聴講者 86名

受講費 無料

後 援 経済産業省

演 題 研究助成テーマより (講演順)

【サウンド技術振興部門】平成23年度研究助成テーマ

脳磁界計測を用いた最適サイン音に関する研究

国立研究開発法人産業技術総合研究所生命工学領域
バイオメディカル研究部門細胞・生体医工学研究グループ
主任研究員 添田 喜治

【サウンド技術振興部門】平成27年度研究助成テーマ

音源合成手法によるイングリッシュ・ハンドベルの製作

木更津工業高等専門学校 電子制御工学科
准教授 泉 源

【音楽振興部門】平成23年度研究助成テーマ

アメリカおよびイギリスの作曲家による芸術作品の研究と演奏

国立音楽大学 演奏・創作学科
教授 佐竹 由美

2) 研究助成受賞者講演会（第35回研究助成講演会）

期 日 平成30年12月11日（火）

会 場 アクトシティ浜松研修交流センター 6階 62研修交流室

聴講者 84名

受講費 無料

後 援 経済産業省、浜松市、浜松商工会議所

演 題 研究助成テーマより（講演順）

【サウンド技術振興部門】平成29年度研究助成テーマ

音楽家のジストニアに伴う手指巧緻性低下のメカニズムの解明

ソニーコンピュータサイエンス研究所研究員 奥 貴紀

【サウンド技術振興部門】平成27年度研究助成テーマ

野生コウモリから学ぶ長距離ナビゲーションアルゴリズム

同志社大学生命医科学部助手 藤岡 慧明

【サウンド技術振興部門】平成29年度研究助成テーマ

スマートフォンを用いた音響場の撮影技術の開発

東京農工大学大学院工学研究院准教授 田川 義之

【サウンド技術振興部門】平成25年度研究助成テーマ

外耳道を開放したまま装用できる軟骨伝導補聴器の騒音下語音明瞭度に関する研究

大阪大学大学院基礎工学研究科准教授 下倉 良太

【サウンド技術振興部門】平成28年度研究助成テーマ

歌唱における歌手のフォルマントの安定性～音高と母音の変化における歌声のスペクトル分析と喉頭音源の観察～

京都市立芸術大学音楽学部教授 津崎 実

4. 情報の提供等事業

平成30年度研究助成受賞者であるマックスプランク鳥類学研究所博士研究員太田菜央氏、筑波大学システム情報系構造エネルギー工学域助教金川哲也氏、室蘭工業大学大学院工学研究科准教授廣田光智氏、電気通信大学大学院情報理工学研究科教授小池卓二氏、日本学術振興会特別研究員三枝まり氏

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科大学院生飯村諭吉氏から執筆を頂き、機関誌「サウンド」第34号を編集し平成31年1月発行。大学等関係機関、国立国会図書館、過去の助成申請者等750件余へ配布した。

5. 調査研究事業

音の測定と評価など新規技術に関する調査研究を実施した。

6. 評議員会・理事会等の開催

1) 第23回理事会

(1) 期日及び場所

平成30年5月16日（水）カワイ表参道

(2) 附議事項

第1号議案 平成29年度事業報告(案)・収支計算(案)の承認に関する件

第2号議案 平成30年度収支予算の修正に関する件

第3号議案 評議員会招集に関する件

第4号議案 議事録署名人の選任に関する件

(3) 議事進行要約

①第1号から第3号議案については、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

②第4号議案については、議長が説明を行い、監事が指名された。

議事録署名人 村上 二郎氏 鷺津 有一氏 (50音順)

2) 第9回評議員会

(1) 期日及び場所

平成30年6月14日（木）東京ガーデンパレス

(2) 附議事項

第1号議案 平成29年度事業報告(案)・収支計算報告(案)の承認に関する件

第2号議案 平成30年度事業計画(案)・収支予算(案)の承認に関する件

第3号議案 議事録署名人の選任に関する件

(3) 議事進行要約

①第1号、第2号議案については、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

②第3号議案については議長が提案を行い、異議なく全会一致で選任され、両評議員もこれを了承された。

議事録署名人 大津 展之氏 花田 修治氏 (50音順)

なおこの折り平成30年度研究助成金の贈呈式を併催した。

3) 定款第35条に基づく決議提案（第24回理事会）

(1) 提案

第1号議案 河合楽器株主議決権行使承認の件
議案内容 平成30年6月27日開催の株式会社河合楽器製作所第91期定時株主総会における全ての議案（第1号議案から第2号議案）に財団所有の同社株主議決権を行使し、全ての議案に（賛）を投ずる。

(2) 結果

第1号議案は、書面、又は電磁的記録により理事全員から同意の意思、及び監事全員から異議がない意思が示され、平成30年6月15日に当該提案の理事会決議があったものとする第1号議案は可決されたとみなされた。

4) 第25回理事会

(1) 期日及び場所

平成31年3月13日（水）カワイ表参道

(2) 附議事項

第1号議案 平成31年度事業計画書(案)・収支予算書(案)の承認に関する件

第2号議案 議事録署名人の選任に関する件

(3) 議事進行要約

①第1号議案については、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

②第2号議案については、議長が説明を行い、監事が指名された。

議事録署名人 村上 二郎氏 鷺津 有一氏

7. 庶務事項

1) 内閣府への提出書類

平成30年6月20日、公益目的支出計画実施報告書等の提出に係る申請書類のうち、次のものを電子申請により提出した。

- ①実施事業（公益目的事業）の状況等
- ②公益目的支出計画実施期間中の収支の見込みについて
- ③当該事業年度の貸借対照表及び附属明細書
- ④当該事業年度の損益計算書及び附属明細書
- ⑤当該事業年度の事業報告及び附属明細書
- ⑥当該事業年度の監査報告、会計監査報告
- ⑦当該事業年度の公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告
- ⑧当該事業年度の正味財産増減計算書内訳表